
2012年度(平成25年3月期)

第2四半期 決算説明会資料

太陽ホールディングス株式会社

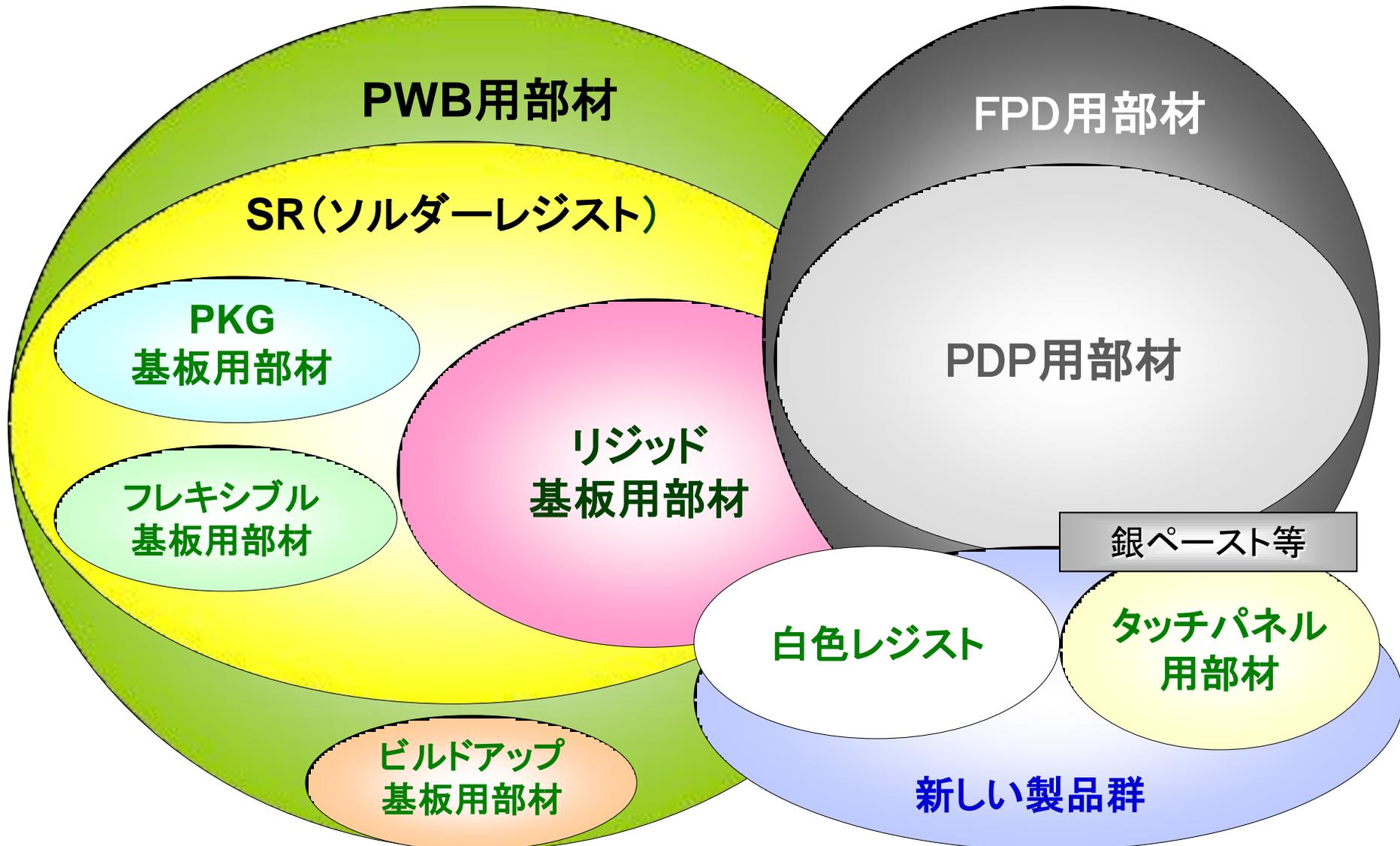
2012年11月20日修正版

(2012年11月9日版より、P.19を修正しております。)



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

当社グループの製品分野



用語	内容
PWB用部材 (Printed Wiring Board)	プリント配線板用部材
FPD用部材 (Flat Panel Display)	フラットパネル・ディスプレイ用部材
PDP用部材 (Plasma Display Panel)	プラズマディスプレイ・パネル用部材
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト(レジストインキ)
PKG基板用部材 (Package)	モジュール基板

1. 2012年度 上半期概要
2. 2012年度 通期業績予想
3. 中期経営計画の進捗状況
4. その他トピックス

1. 2012年度 上半期概要

2012年度上半期 業績

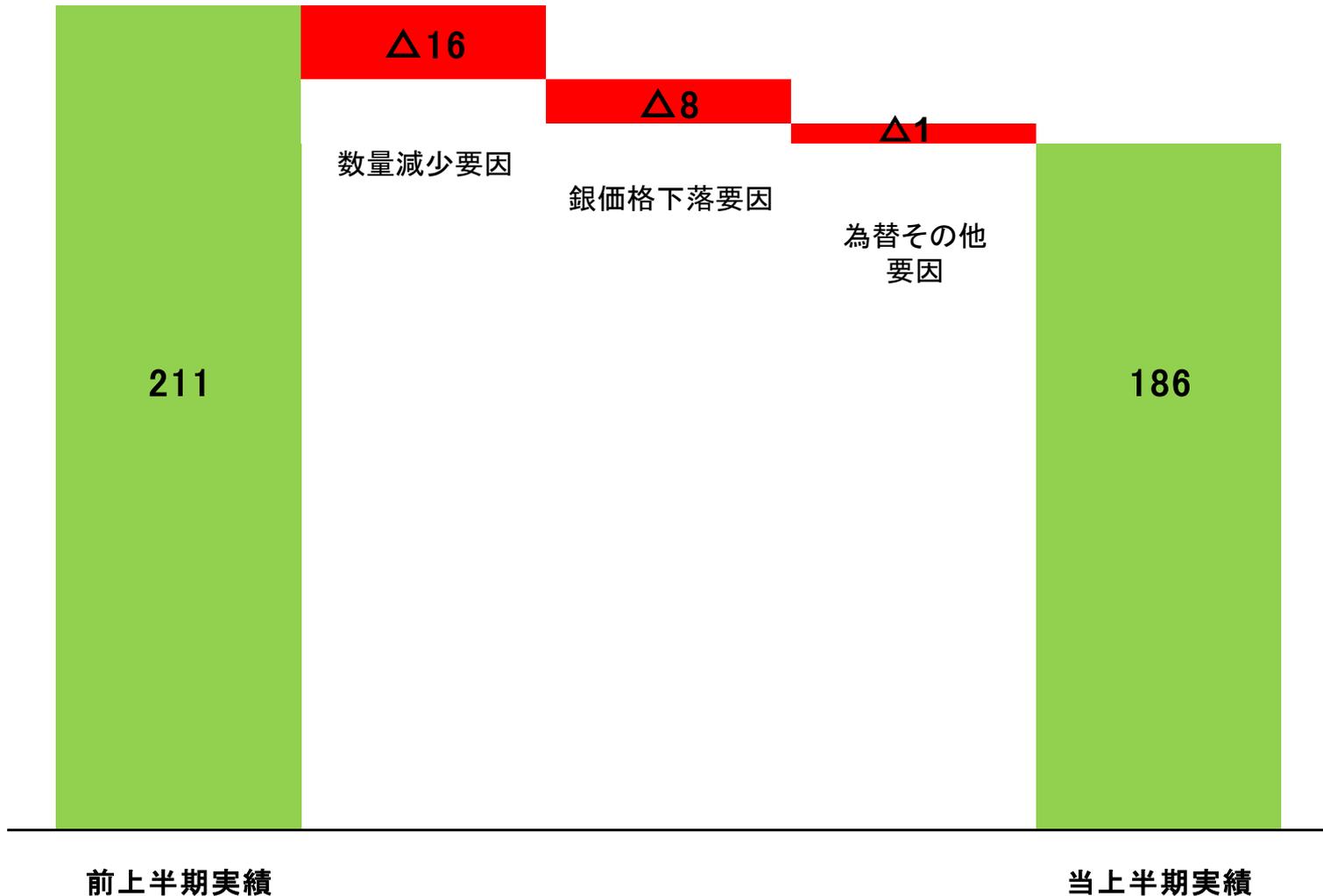
(単位:百万円)

項目	11年度 上半期	12年度 上半期	増減額	増減率	期初 業績予想
売上高	21,115	18,594	△2,521	△11.9%	19,500
営業利益	2,416	2,353	△62	△2.6%	2,100
経常利益	2,274	2,463	+189	+8.3%	2,100
四半期純利益	1,578	1,746	+169	+10.6%	1,500
円・USDレート	79.7	79.4	△0.3	-	80.0

2012年度上半期 減収要因(前期比)

売上高

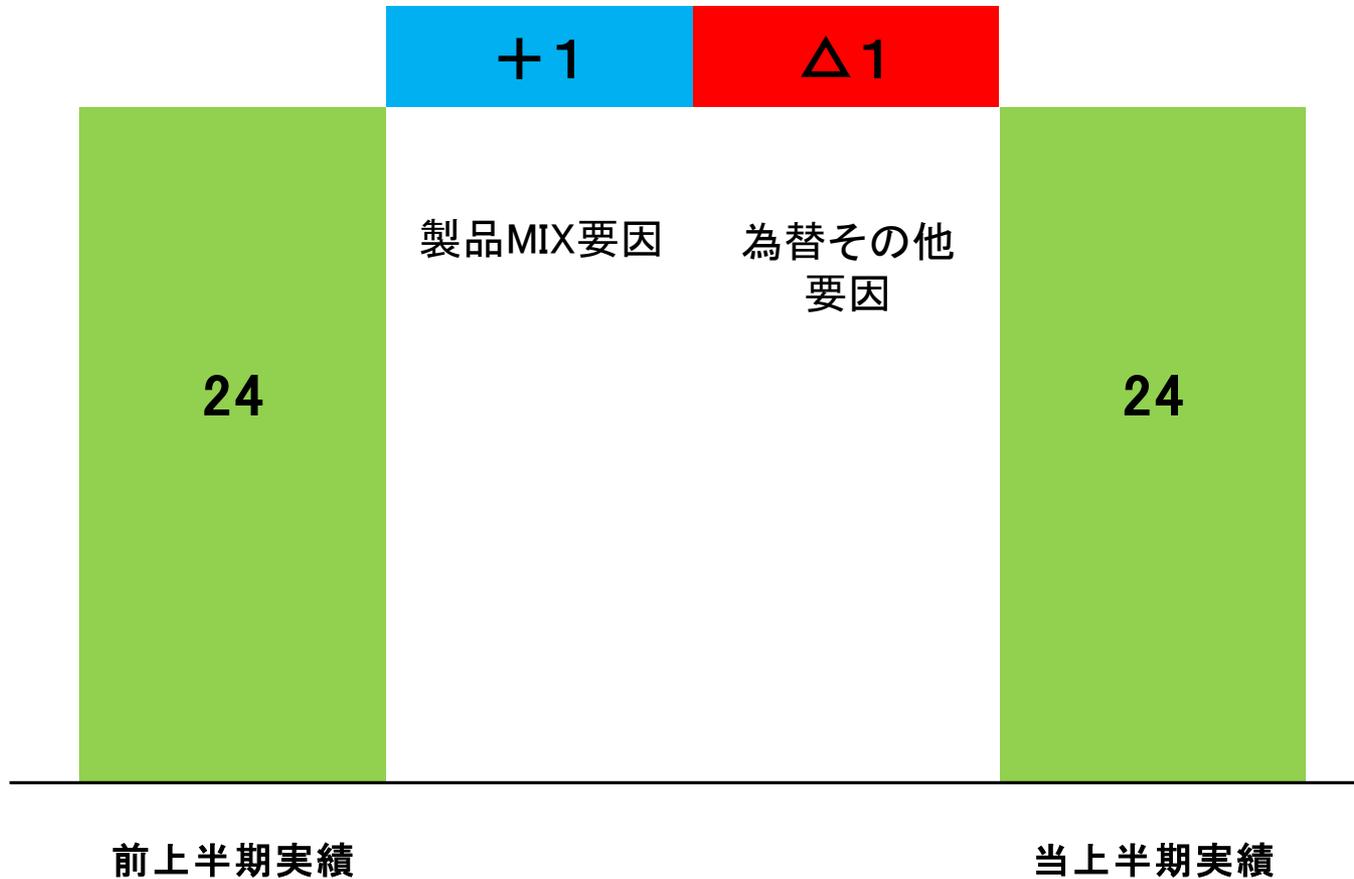
(単位:億円)



2012年度上半期 減益要因(前期比)

営業利益

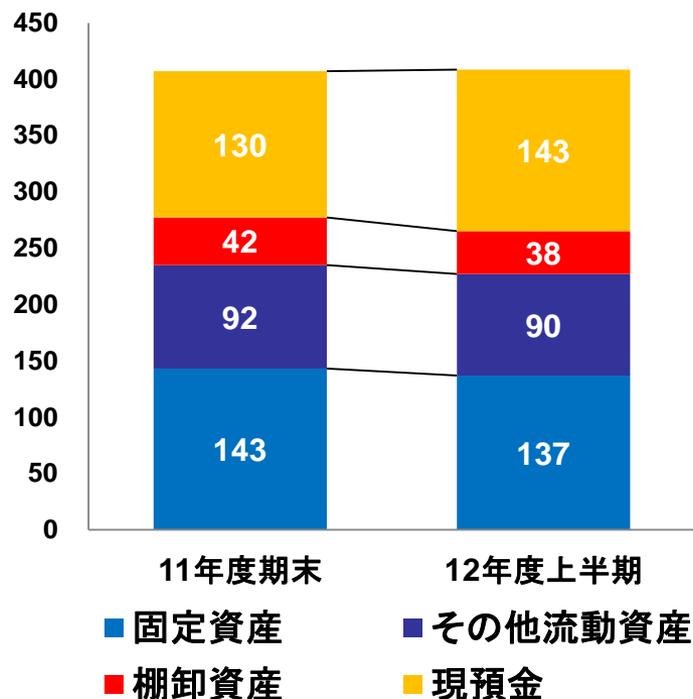
(単位:億円)



2012年度上半期 BSの概況

資産

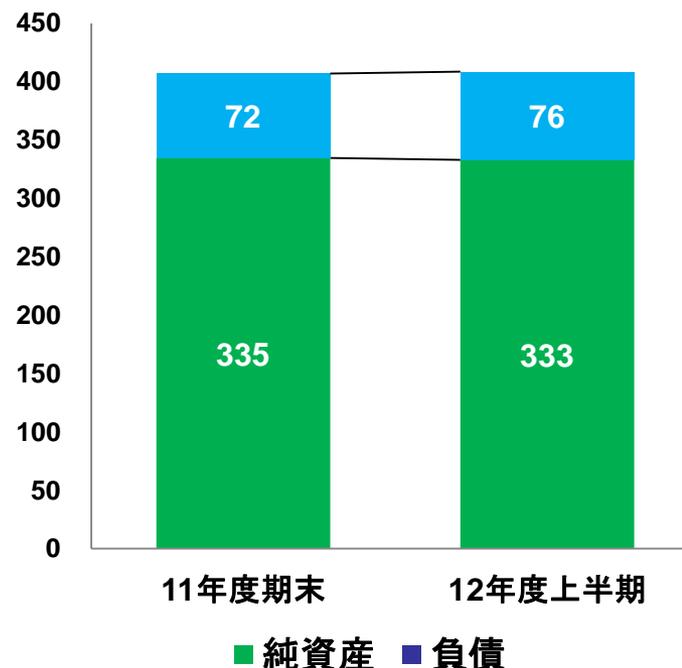
(単位:億円)



- 償却による固定資産の減少
- 生保解約による固定資産の減少

負債・純資産

(単位:億円)

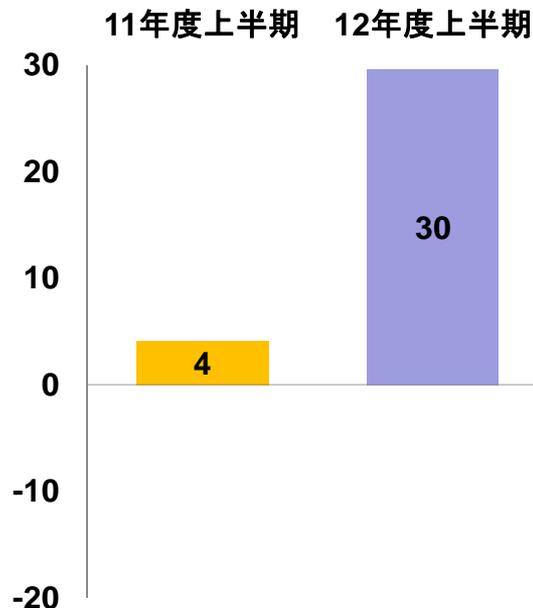


- 円高に伴う海外子会社投資の目減り (為替換算調整勘定の減少)
- 利益剰余金の増加

2012年度上半期 CFの概況

営業CF

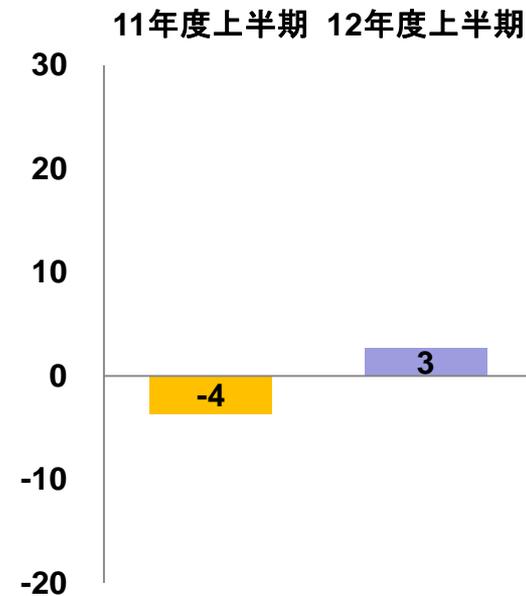
(単位:億円)



□ 棚卸資産の増加によるCFの減少(前期)

投資CF

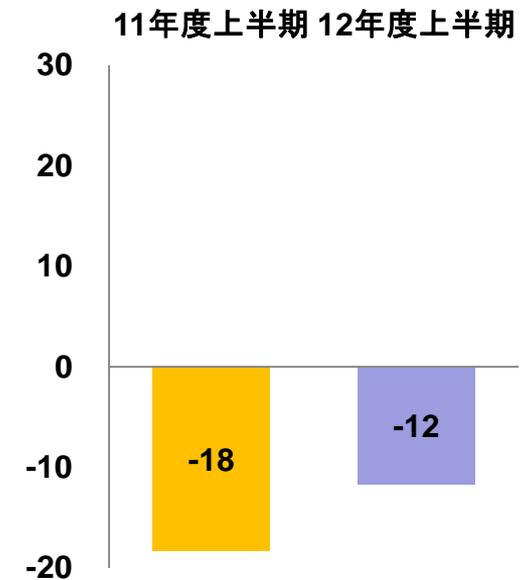
(単位:億円)



□ 定期預金の戻入によるCF増加
□ 生保解約によるCFの増加

財務CF

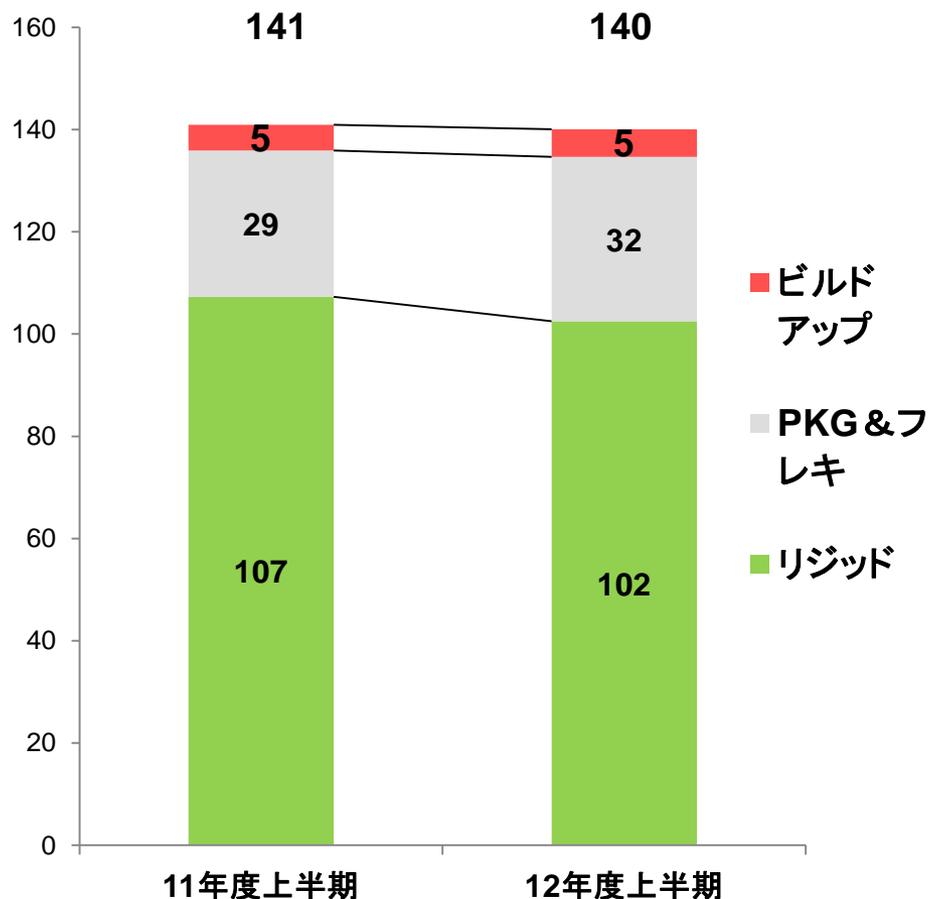
(単位:億円)



□ 増配(記念配当)に伴うCFの減少(前期)

売上高

(単位:億円)

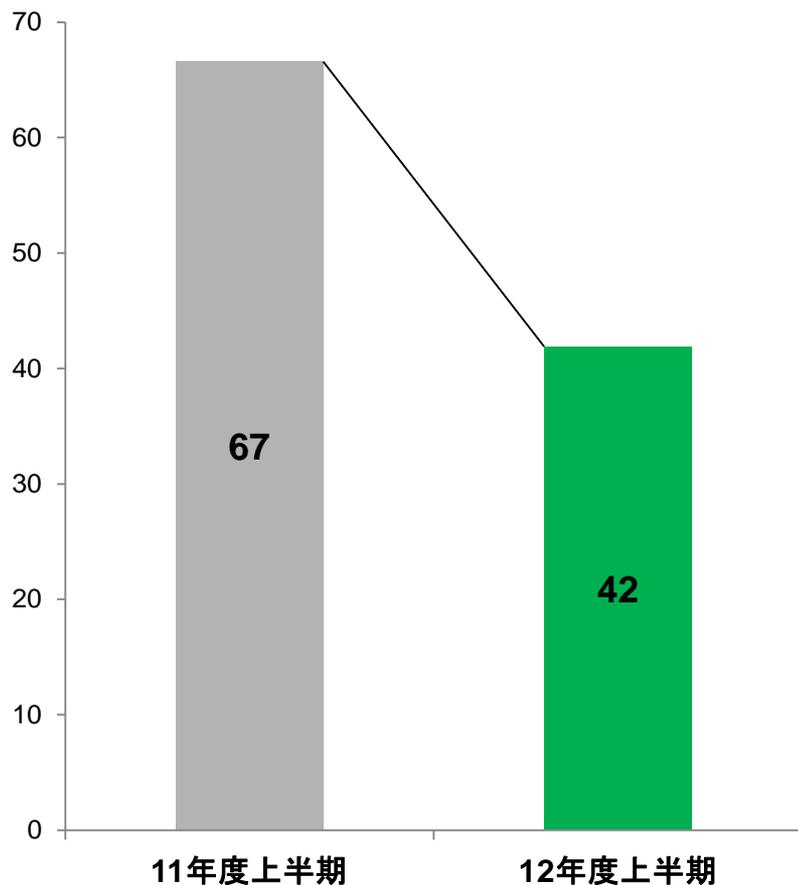


中国市場を中心に低価格品の販売は好調に推移

スマートフォン及びタブレットPCなどの小型情報端末の需要増加によりPKGなどの高機能品の販売が増加

売上高

(単位: 億円)

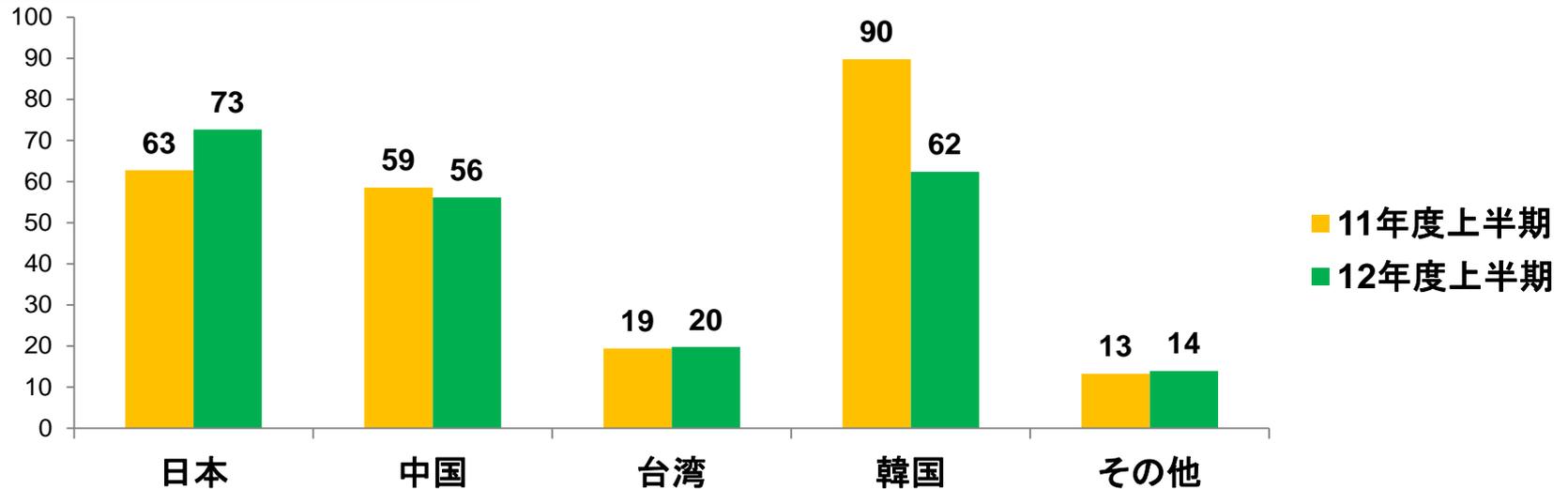


- PDPテレビ需要減少により販売数量は大幅に減少
- 原材料である銀価格下落に連動し販売単価も下落

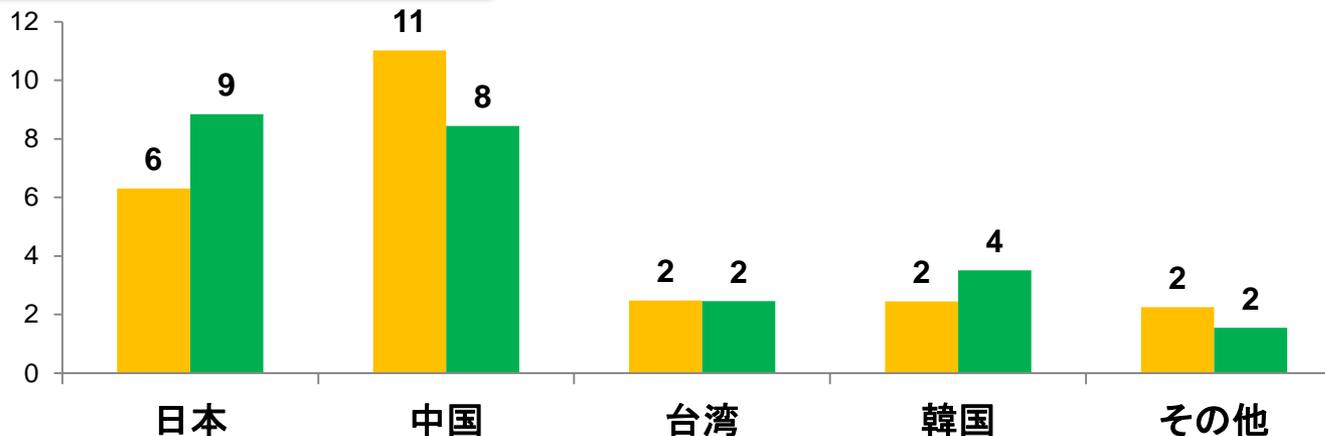
2012年度 セグメント売上・利益

売上高

(単位:億円)



営業利益



2. 2012年度業績予想

2012年度 業績予想

(単位:百万円)

項目	12年度業績予想				11年度 実績
	5/8公表	新予想	増減額	増減率	
売上高	40,500	36,500	△4,000	△9.9%	39,797
PWB等	29,500	29,500	0	0%	27,490
FPD	11,000	7,000	△4,000	△36.4%	12,307
営業利益	4,500	4,500	0	0%	4,040
経常利益	4,500	4,500	0	0%	4,027
当期純利益	3,200	3,200	0	0%	2,502
円・USDレート	80.0	79.4	—	—	79.3

前回公表業績予想からの修正要因

PWB

- 上期に当初の想定を上回るペースで推移
- FPD用部材より販売単価は低いが利益率が高い

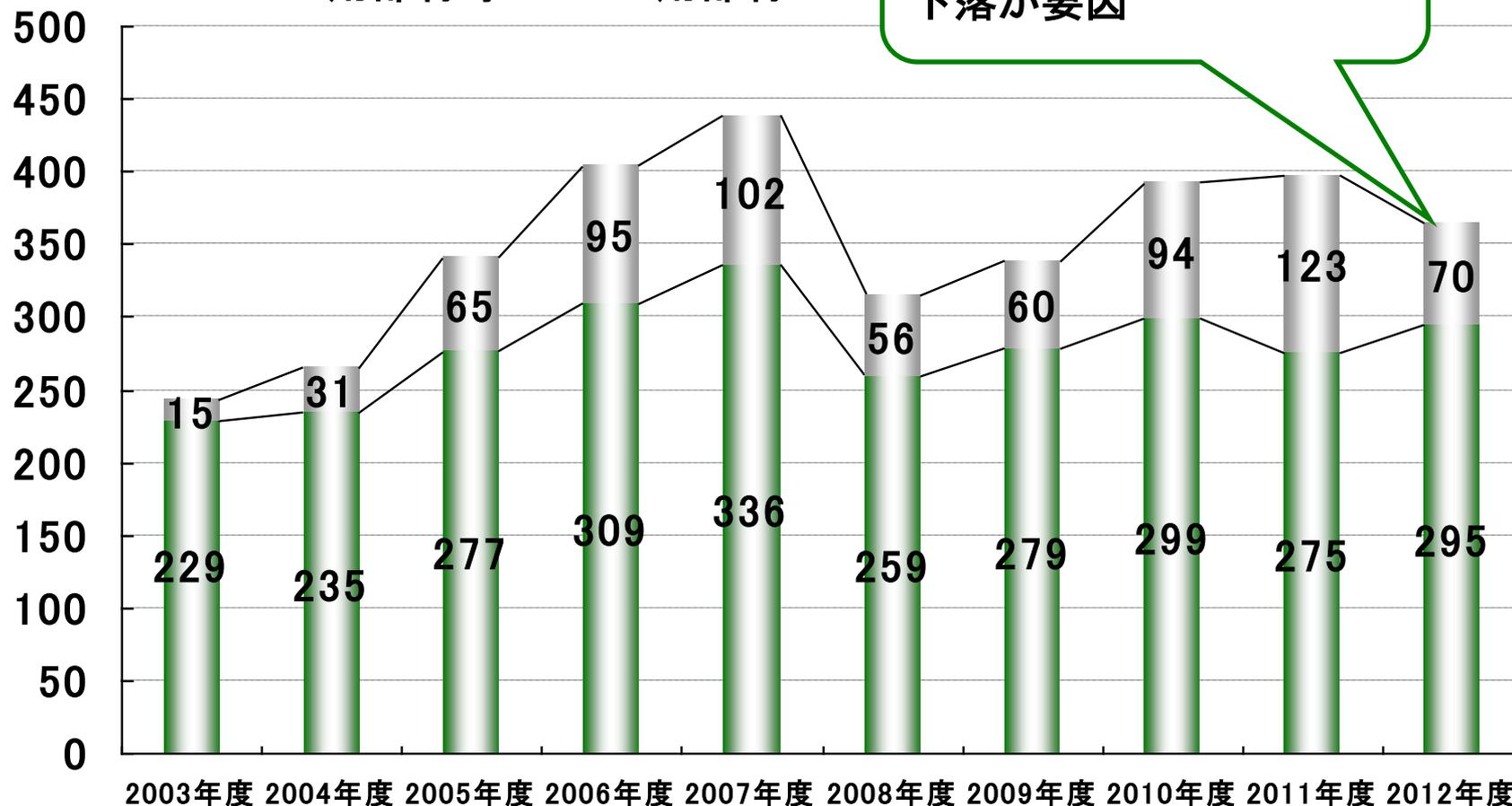
FPD

- PDPテレビ市場縮小による販売数量の減少

連結売上高(PWB等・FPD)の実績

売上高

(単位: 億円) ■ PWB用部材等 ■ FPD用部材



PWB等は前期より増加
FPDは数量減少・銀価格
下落が要因

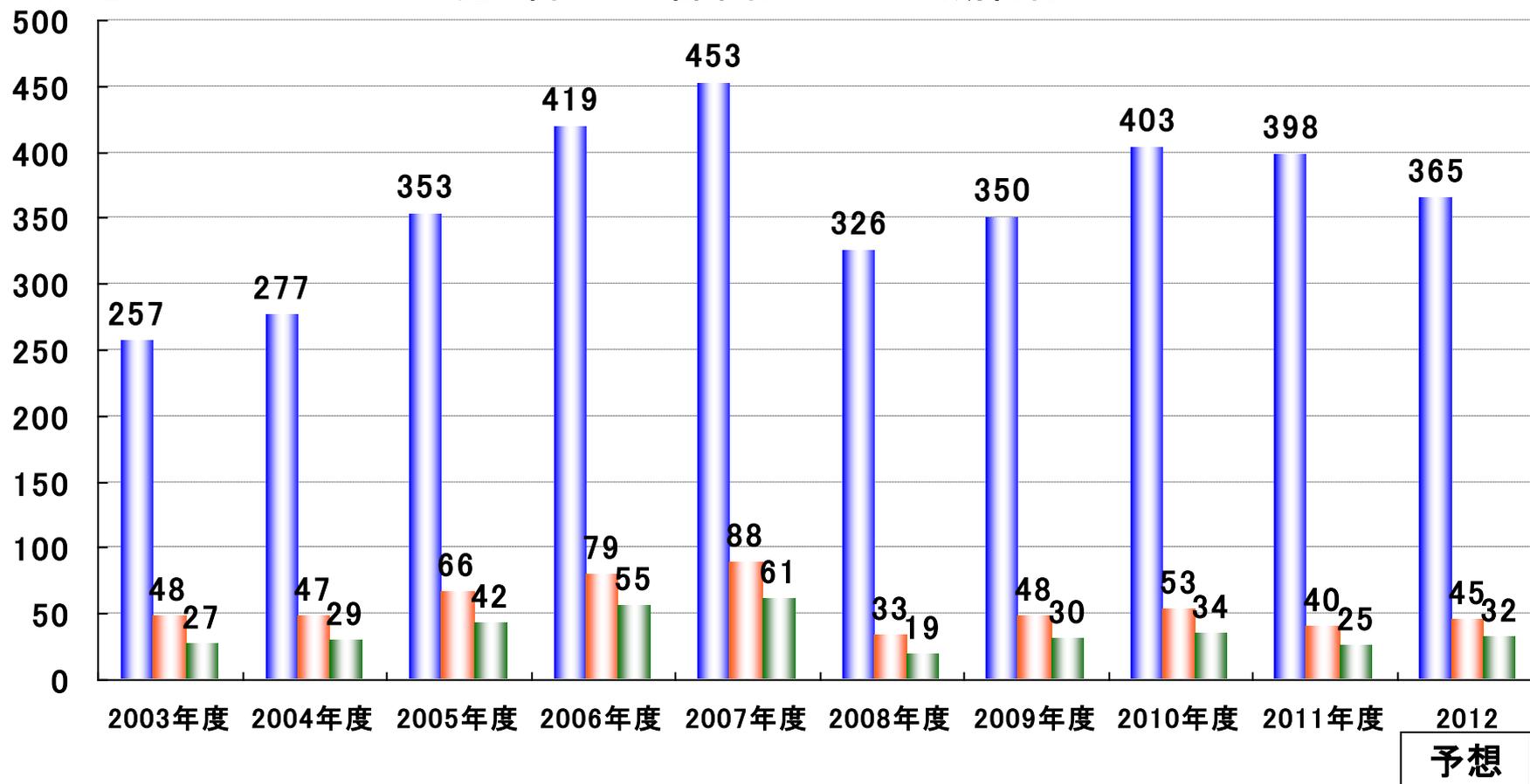
予想

連結業績の推移

売上高

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益



銀価格の推移

FPD用部材の主要原料である銀価格の推移

(円/kg)

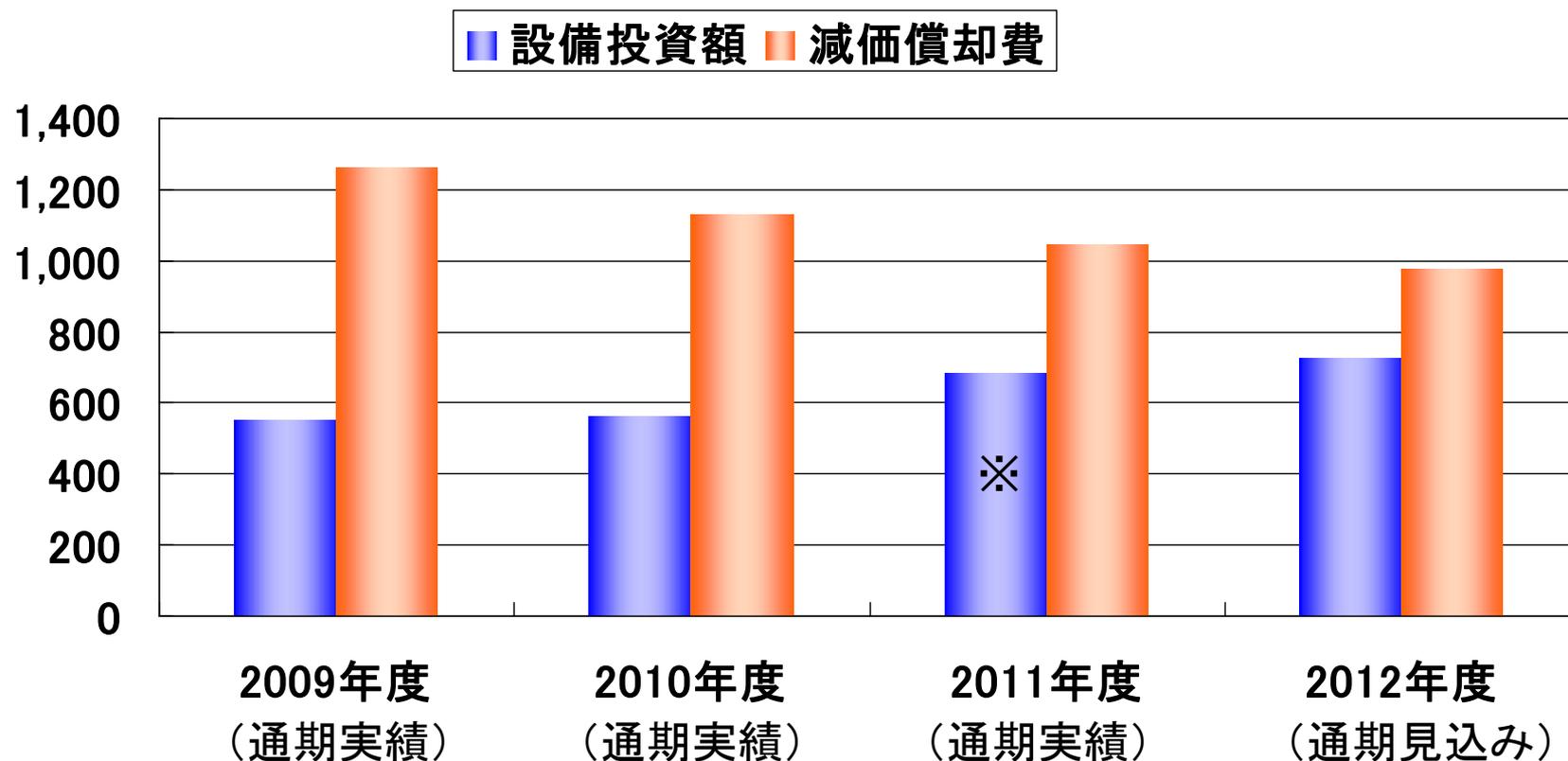


7万円台で推移していたものの直近で上昇

※出典:山本建値

設備投資と減価償却費

(百万円)



(※2012年11月9日版より、2011年度設備投資額通期実績を修正しております。)

3. 中期経営計画の進捗状況

中国市場戦略

- 低価格品で競合よりシェア奪取
- M&Aによる中国内シェアの拡大(「M&A戦略」参照)

“地産地販戦略”

- 震災影響により海外子会社への生産移管が進行
- 海外子会社の原材料現地調達比率拡大(上期約50%)
- 円高対策として原材料の日本への輸出推進

新製品開発戦略

- 上半期の新製品売上高14億円(通期目標約38億円)
- 白色SRは約4億円

グローバル人材戦略

- 海外人材の現地での採用活動
- 海外人材の本社取締役への登用
- 海外人材のマネジメントクラスの抜擢
- 海外子会社間の人事ローテーション

M&A戦略

- 平成24年8月9日付にて『永勝泰科技股份有限公司』の株式譲渡について基本合意締結完了。目的は中国市場のシェアの拡大。
- 平成24年10月19日付にて台湾の公平取引委員会にて本件株式譲渡の承認完了。
- 平成25年2月下旬までに51%の株式の取得を予定。その後も追加の株式取得の予定

中期経営計画の進捗状況

永勝泰科技股份有限公司概要

- 所在地 台北県鶯歌鎮仁愛路1号7F
- 代表者 董事長 江徳生
- 事業内容 精密機器用の特殊インキの製造・販売
- 設立年月日 1998年9月
- 財務情報

【単位：千円】

大項目	中項目	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
BS	流動資産合計	2,079,177	2,421,924	1,906,643
	固定資産合計	1,240,586	1,421,424	1,633,544
	流動負債合計	505,102	550,272	404,721
	固定負債合計	31,237	52,744	77,449
	純資産合計	2,783,424	3,240,331	3,058,018
PL	売上高	2,894,017	3,707,610	3,373,215
	税引前当期純利益金額	356,674	564,038	240,225
	当期純利益金額	300,784	444,650	190,143

※出展：互応化学工業株式会社 有価証券報告書(平成22年3月期～平成24年3月期)

4. その他トピックス

日本触媒火災事故による影響

- 平成24年9月29日 日本触媒の姫路製造所にて爆発・火災事故が発生。
- 11月9日現在も当該製造所は停止中であり、再開時期は未定。
- 当社は製品原材料の一部として樹脂を購入。当該樹脂に関しては日本触媒の他拠点での生産を開始済み。

